

2026年7月10日

No.77

発行／県民クラブ
連絡先／大分県議会
大分市大手町 ☎(097)536-1111代

<https://kenmin-club.com/>



食料安全保障と平和な日本の未来のために

県民クラブ ニノ宮 健治 (由布市選出)



県民ひろば



光陰矢の如し。県議会県民クラブの一員として三期十二年の節目を迎えました。私が初当選した頃は、広瀬県政四期目のスタートの時期であり、国では初代地方創生担当大臣に石破氏が就任しました。地方の人口減少や地域経済の衰退に歯止めをかけるために、国が本腰を入れて地方創生に取り組むものと大いに期待し、私自身もその実現に向けて全力で活動してきました。

しかし、あれから十年以上が経過した今も、地方では人口減少や高齢化が進み、多くの地域が厳しい状況に置かれています。地方創生を目指すことは、適切で、必定とも言えましたが、その政策の成果は地方に十分に行き渡ったとは言い難い現実があります。

人口減少が進む中でも、地域の経済、地域の基盤を支える重要な位置を占めているのは、農業です。私は県議会議員として一貫して「農村と農業を元気にしたい」と訴えてきました。

その農業を取り巻く環境が、大きな転換点を迎えています。

近年、世界では戦争や紛争が相次ぎ、国際情勢は不安定さを増しています。ウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化は、エネルギーや食料価格の高騰を招き、私たちの日常生活にも大きな影響を与えています。食料の多くを海外に依存する日本にとって、食料安全保障は農業関係者だ

けの課題ではなく、国民全体の課題となっています。

日本の食料自給率は依然として低い水準にあります。世界規模の紛争や異常気象、物流の混乱が起これば、必要な食料を十分に確保できなくなる可能性もあります。だからこそ、農地を守り、担い手を育て、地域農業を維持することは、国民の命と暮らしを守る安全保障そのものであると考えています。

一方で、国では防衛力強化や軍事費増額が進められています。国民の安全を守ることは重要ですが、戦後日本が築いてきた平和国家としての歩みもまた、守るべき大切な財産です。戦争の悲惨さを経験した先人たちが築いた平和主義の理念を、私たちは次の世代へしっかりと引き継いでいかなければなりません。

こうした課題意識のもとに、県民クラブでは「食料問題研究会」を立ち上げ、食料安全保障と平和な日本の未来について調査・研究を始めました。

今こそ地方から声を上げる時です。農業を守ることは地域を守ることであり、地域を守ることは国を守ることにつながります。これからも、食料安全保障の確立と農業振興、そして平和を大切にする日本の実現に向け、県民クラブ一丸となって取り組んでまいります。